

現代高校生の価値観と教科の学習 —国語科の場合—

上村 広宣 (創価大学大学院)

黒田 経子 (創価大学大学院)

1. 研究の目的

高度な科学技術の進歩と産業の発展にともなう、環境問題が深刻化し、生命尊厳に関わる問題がクローズアップされ、価値観と人間の「在り方生き方」が、あらためて厳しく問われるようになった。こうした社会状況を背景に、平成6年から実施される第6次高校学習指導要領は、その大きな特徴の一つとして「人間としての在り方生き方」の指導を強調している。同指導要領総則第一款の2では、「…人間としての在り方生き方に関する教育を学校の教育活動全体を通じて行うことにより、…」と述べている。

高校教育は、人生や社会の問題について深く思索し始める青年前期の生徒を対象としており、しかも、進学あるいは就職をひかえ、価値観の形成という点で重要な意味をもっている。この段階で、生徒に対して人間としての「在り方生き方」について、適切な指導を行うことの意義は大きいと思われる。

本研究は現代高校生の価値観とカリキュラム上の基礎的教科である国語科の学習との関係を明らかにすることを目的としている。この研究では、まず高校生の価値観の実態を把握し、その価値観形成に国語科の教育がどのように作用しているか、また逆に、彼らの価値観がどのように国語科の学習への取り組みに影響しているかを調べることを主眼としている。

本研究の一貫として、下記のような高校生を対象とする調査を実施した。この調査結果の分析から、教科において価値観及び人間の「在り方生き方」に関する指導を行う場合の重要な手がかりが得られるように思われる。

2. 調査の概要

調査は質問紙法を用い、全国高等学校国語科指導研究会所属会員のうち、調査の協力を承諾した教員に依頼し、配布・回収した。調査の対象となったのは、公立8校、私立12校、計20校の生徒及び国立高校の生徒一部である。対象校には、私立校・女子校が多くなっており、全国の高校設置状況からみて、偏りがあることをことわっておかなければならない。

回収されたサンプル数は、848であり、回答者の属性は、まず性別で男子412人(48.58%)女子436人(51.42%)、学年別では1年生261人(30.78%)2年生275人(32.43%)3年生312人(36.79%)、さらに設置者別では公立437人(51.53%)私立407人(48.00%)国立4人(0.47%)となっている。

質問紙は、1992年2月から4月にかけて、調査協力者が国語科の授業時間に配布・回収した。

3. 分析・考察の枠組み

分析・考察は、高校生の価値観と、国語科の授業に対する意見・期待・要望との相互関係を基本とし、回答者の属性と価値観および価値観相互の関係等についても行うこととする。その際、分析にあたって、価値観に関する回答結果について、価値志向を次のように類型化した。

Q. 1—うちむき型(読書志向・屋内レジャー志向)、そとむき型(屋外レジャー志向・学校関連志向・交友志向)

Q. 2—自己志向型(貯蓄志向・趣味志向・図書志向)、他者志向型(部活志向・交友志向・福祉志向)

Q. 3—自己志向型(栄養志向・趣味志向)、他者志向型(交友志向・奉仕志向・創造志向)、無感動型

Q. 4—わたくし志向型(勉強志向・自己将来志向・趣味志向・神秘志向・異性志向)、おおよけ志向型(奉仕志向・社会問題志向)、無感心型

Q. 5—満足型、不満足型、曖昧型

Q. 6—わたくし志向型(財産志向・家庭志向・地位、名誉志向・趣味志向)、おおよけ志向型(福祉志向・国家志向・国際平和志向・文化志向)

Q. 7—内面志向型(健康志向・勤勉、努力志向)、対人関係志向型(信用、信頼志向・責任志向・義理志向・思いやり志向・礼儀志向)、用具志向型(知識、技術志向・教養志向・金銭志向)

Q. 9—軽い体験型、重い体験型

Q. 10—執着型(努力型・絶対者依存型・自己顕示型)、無執着型(自適型・無為型・絶望型)

Q. 11—満足型、不満足型、曖昧型

Q. 12—ソフトイメージ型(民主志向・平和志向・福祉志向・国際交流志向・環境志向)、ハードイメージ型(経済志向・科学技術志向・防衛力、国際貢献志向)

Q. 13(A)—教科書型、通俗型

Q. 14—情感志向型、社会派型、実存型、快楽型

Q. 17—わたくし志向型、おおよけ志向型、無関心型

Q. 18—社会型、娯楽型、実益型、教養型

以上の類型に基づき、分析・考察は次の点について行われた。

①単純集計の結果に基づく全体的傾向

②回答者の属性(性別・学年別・高校設置者別)と価値志向、および国語科の授業に対する意見・期待・要望との関係

③価値志向別の特徴および価値志向相互の関係—関連性の程度

④価値志向と国語科の授業に対する意見・期待・要望との関連

4. 主要項目別にみた調査の結果

A. 単純集計の場合

(1) 属性

性別	男 (48.58%)	女 (51.42%)
----	------------	------------

学年	1年 (30.78%)	2年 (32.43%)
	3年 (36.79%)	その他 (0%)

高校設置者別	私立 (48.00%)
	公立 (51.53%)
	国立 (0.47%)

進路希望	イ 大 (63.09%)	短大 (5.66%)
	専門 (6.96%)	企業 (13.21%)
	公務員 (1.65%)	家業 (0.24%)
	未定 (7.90%)	その他 (1.18%)

(2) 価値志向

① そとむき型よりもうちむき型が多い。

Q. 1: 自由時間1時間半あったら?

うちむき (68.05%)	そとむき (17.33%)
---------------	---------------

② 他者志向型よりも自己志向型が多い。

Q. 2: 1万円もらったら、どう使うか?

自己志向 (83.03%)	他者志向 (7.90%)
---------------	--------------

Q. 3: 充実感を味わうのは、どんな時か?

自己志向 (57.22%)	他者志向 (37.23%)
無感動 (1.14%)	

③ おおやけ志向型よりもわたくし志向型が多い。

Q. 4: 何に関心を持っているか?

わたくし (78.12%)	おおやけ (17.73%)
無関心 (1.50%)	

Q. 6: 社会人になった時の第1の目標

わたくし (82.07%)	おおやけ (11.91%)
---------------	---------------

Q. 17: 興味を持って読む新聞の記事

わたくし (62.97%)	おおやけ (32.07%)
無関心 (2.00%)	

④ 生活については満足型が多く、社会に対しては不満足型が多い。

Q. 5: 今の自分の生活に満足しているか?

満足型 (48.47%)	不満足型 (42.69%)
曖昧型 (8.84%)	

Q. 11: 今の社会に満足しているか?

満足型 (19.70%)	不満足型 (57.67%)
曖昧型 (19.93%)	

⑤ 社会人になった時に心掛けたい事は多い順に、対人関係志向型、内面志向型、用具志向型になる。(Q. 7)

内面型 (21.35%)	対人型 (67.10%)
用具型 (9.32%)	

⑥ 人生についての考え方に影響を及ぼした体験では、軽い体験型より重い体験型が多い。(Q. 9)

軽い体験 (39.16%)	重い体験 (55.83%)
---------------	---------------

⑦ 死の極限状況では、執着型よりも無執着型が多い。(Q. 10)

執着 (41.99%)	無執着 (48.58%)
-------------	--------------

⑧ 理想の社会像では、ハードイメージよりもソフトイメージが多い。(Q. 12)

ハード型 (6.37%)	ソフト型 (89.03%)
--------------	---------------

⑨ 感銘を受けた作家では、通俗型よりも教科書型が多い。(Q. 13)

教科書型 (43.59%)	通俗型 (38.03%)
---------------	--------------

⑩ 作品を読んで印象に残ったことについては多い順に、情感志向型、快楽型、実存型、社会派型になる。(Q. 14)

情感型 (39.63%)	社会派型 (14.07%)
実存型 (17.02%)	快楽型 (25.00%)

B. クロス集計の場合

(1) 属性と価値観

* 学年と文学作品の受けとめ方との関係 (学年×Q.14) (X)

	情感型	社会派型	実存型	快楽型	その他
1年	46.8	9.5	15.6	26.1	1.8
2年	37.4	11.9	17.5	29.2	4.0
3年	35.5	19.9	17.6	20.3	6.8

→

情感型は1年に多く、社会派型は3年に多い。実存型は、2・3年ではほぼ同じであり、快楽型は2年で多くなっている。

(2) 属性と国語科への要望等

* 性別と生き方・人生観への国語科の影響との関係 (性別×Q.22) (X)

	困難な事	進路選択	悲しい事	友人関係	親子関係	恋愛関係	生きる意味	その他	影響なし
男	22.7	11.8	6.7	5.0	1.7	1.7	44.5	5.0	57.8
女	21.7	6.4	9.0	4.8	0.6	1.8	46.4	7.2	51.8

→

影響なしと答える者は女性より男性にやや多い。影響があると答えた者のうち「困難なこと」「進路の選択」「親子関係」は男性に多く、「悲しいこと」「生きる意味を考える」は女性に多くなっている。

* 設置者別と国語科への要望等との関係 (設置者別×Q.25) (X)

	読書習慣	意見ハベル	意見書く	日本の文化	文学を理解	人生を深める	受験対策	その他	特にな
私立	6.6	11.3	21.4	3.9	7.4	19.4	13.3	2.0	13.8
公立	6.0	20.8	18.3	5.5	7.8	14.4	4.8	1.1	18.5
国立	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0

→

国語の授業に、「読書する週間」「意見を述べる能力」「日本の文化の理解」を強く要望するのは、公立に多く、「意見を書く能力」「人生についての考えを深める」「受験対策」を強く求めるのは、私立に多くなっている。「文学を深く理解する」については、私立・公立で同じぐらいになっている。

(3) 価値観相互の場合

* 社会に対する満足・不満足と理想の社会像との関係 (X)

	ハードイメージ型	ソフトイメージ型
満足型	9.0	88.6
不満足型	5.7	89.6
曖昧型	5.9	90.5

→

社会の満足・不満足にかかわらず、ソフトイメージ型が圧倒的に多い。現代高校生の価値観は、ソフト志向型であるとみることができる。

(4) 価値観と国語科への要望等

* 生き方・人生観に国語が影響を及ぼす場合と体験のタイプとの関係 (X)

	困難な事	進路選択	悲しい事	友人関係	親子関係	恋愛関係	生きる意味	その他
軽い体験型	21.7	10.9	7.7	4.5	0.8	1.4	46.2	6.8
重い体験型	22.9	8.0	8.9	5.4	1.6	2.2	45.2	5.8

→

特に相関はみられない。

* 生き方・人生観への国語の影響と執着型、無執着型との関係 (X)

	よくある	時々ある	あまり無い	全くない	わからない
執着型	9.8	32.3	37.1	9.3	11.5
無執着型	3.9	20.4	44.7	18.4	12.6

→

執着型は無執着型に比べて、生き方・人生観の面で国語の影響を受ける割合が高い。

* 生き方・人生観に国語が影響を及ぼす場合とうちむき型、そとむき型との関係 (X)

	困難な事	進路選択	悲しい事	友人関係	親子関係	恋愛関係	生秘意味	その他
うちむき	20.7	10.5	8.0	4.6	1.3	1.7	45.6	7.6
そとむき	33.3	7.1	9.5	7.1	0.0	2.4	38.1	2.5

→ うちむき型、そとむき型ともに「困難なことに直面した時」「生きる意味について考える時」を選ぶものが多い。しかし、そとむき型はうちむき型に比べて、「困難なこと」を選ぶ割合が高く、逆にうちむき型はそとむき型に比べて「生きる意味」を選ぶ割合が高い。

* 生き方・人生観を国語でとりあげることと執着型、無執着型との関係 (X)

	他人の人生観	考える機会	必要ない	嫌な感じ	どちらでも	わからない
執着型	19.7	52.0	7.3	2.0	14.6	4.4
無執着型	16.3	36.6	12.9	3.9	18.9	9.4

→ 執着型は無執着型に比べて、生き方・人生観を国語でとりあげることについて肯定的な者が多い。

* 生き方・人生観に国語が影響を及ぼす場合と文学作品の受けとめ方との関係 (X)

	困難な事	進路選択	悲しい事	友人関係	親子関係	恋愛関係	生秘意味	その他
情感型	21.4	11.1	7.8	4.9	1.2	1.7	46.1	5.8
社会派型	16.5	2.3	7.1	4.7	0.0	2.3	60.0	7.1
実存型	21.6	9.8	9.8	2.9	0.0	2.0	45.1	8.8
快樂型	32.7	14.6	9.1	5.5	2.7	1.8	30.0	3.6

→ 特に強い相関関係は認められないが、快樂型で「生きる意味について考える時」を選ぶ者が少ないことが注目される。

* 国語科への要望と文学作品の受けとめ方との関係 (X)

	読書習慣	意見ハル	意見書く	日本の文化	文学を理解	人生を深める	受験対策	その他	特にな
情感型	8.2	15.3	21.2	4.8	8.7	16.3	8.8	2.0	14.7
社会派型	4.8	16.2	20.1	4.4	10.5	21.0	10.0	2.5	10.5
実存型	4.7	19.5	19.9	5.4	5.4	21.3	6.9	2.5	14.4
快樂型	11.1	16.2	18.4	4.2	7.6	13.5	8.8	1.5	18.7

→ 文学作品の受けとめ方と国語科への要望とは、特に強い相関関係は認められないが、社会派型・実存型に「人生や生き方についての考えを深めることができる」を選ぶ者が多く、快樂型でこれが非常に少ないことが目立っている。